

令和7年度「食品表示適正化強化月間」実施結果(年末)

1 食品表示監視指導

(1) 合同監視

食品の監視にあたり、複数の対象法令担当者が合同で実施する監視を、「合同監視」と位置づけ、令和7年12月(年末)の月間中に立入検査実施215回(令和6年度比88%)、延べ14,913品目(同115%)を監視したところ、延べ103品目(同85%)の不適正表示を発見し、製造業者、販売業者等の表示義務者に対して適正表示を指導した。

また、本年も食材偽装を対象としたメニュー表示に係る監視を加え実施した。

※実施回数は県が実施した回数。調査品目数・不適正品目数は岐阜市保健所実施分を含む。

| | 立入検査実施回数 | 調査品目数 | 不適正表示品目数 | 不適率 |
|---------|----------|--------|----------|------|
| 令和7年度年末 | 215 | 14,913 | 103 | 0.7% |
| 令和6年度年末 | 245 | 12,936 | 121 | 0.9% |
| 令和5年度年末 | 197 | 15,984 | 181 | 1.1% |

(2) 月間中の各法令に基づく監視

各法令に基づく全立入検査実施回数(単独法令に基づく監視に上記の合同監視を加えた立入回数)は、785回(同84%)、延べ15,799品目(同141%)であり、延べ103品目(同84%)の不適正表示を発見し、製造業者、販売業者等の表示義務者に対して適正表示を指導した。

※食品表示法、医薬品医療機器等法、健康増進法の実施回数及び品目数は岐阜市保健所実施分を含む。

| 法令 | 立入検査実施回数 | 調査品目数 | 不適正表示品目数 | |
|------------|----------|--------|----------|------|
| 食品表示法 | 283 | 9,121 | 47 | |
| 医薬品医療機器等法 | 110 | 1,230 | 9 | |
| 健康増進法 | 110 | 1,906 | 15 | |
| 米トレーサビリティ法 | 177 | 2,001 | 25 | |
| 景品表示法 | 105 | 1,541 | 7 | 不適率 |
| 合計 | 785 | 15,799 | 103 | 0.7% |
| 令和6年度同期 | 938 | 11,188 | 122 | 1.1% |

(3) 不適正表示について

- ・食品表示法に基づく表示の主な不適は、生鮮食品の「産地表示」欠落、加工食品の「原料原産地表示」欠落、食品添加物の表示方法の不備であった。
- ・健康増進法に基づく表示の不適は、「健康の保持増進、疾病予防」を表す内容を記載したところが多かった。
- ・医薬品医療機器等法に基づく表示の不適は、「医薬品的な効能効果等の標ぼう」であった。
- ・米トレーサビリティ法に基づく表示の不適は、「米の産地情報が消費者へ伝達されていない」等であった。

不適正表示の法令内訳

| | | | | |
|-----------|--------------|-----------|----------------|----------|
| 食品表示法, 47 | 医薬品医療機器等法, 9 | 健康増進法, 15 | 米トレーサビリティ法, 25 | 景品表示法, 7 |
|-----------|--------------|-----------|----------------|----------|

2 食品表示の適正化に関する活動

● 食品表示関連法令講習会

講習会を開催し、適正表示について説明を行った。

| 対象者 | 実施回数 | 参加人数 |
|-------|------|------|
| 事業者 | 1 | 10 |
| 一般消費者 | 1 | 20 |